



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

人口減少とコロナによる産業の影響

Q 各産業に多大なる影響を及ぼしている。

A ①終息の見込みは。
②ワクチンは重症化しない抑制作用で、決して感染を防ぐものではない。移動が激しい人ほどワクチン接種を推進すべき。

③第三者認証制度が始まるまでに何をすべきか。

A ①市内の各事業所は、厳しい経営状況が続いている。持続化支援金の申請は754件である。ワクチン接種の進行に伴い、経済は右肩上がりになると期待している。

②コロナを早く終息するために、16歳以上の方に積極的に接種していただきたい。12〜15歳までについては、本人や保護者の同意を前提として、受けていただきたい。

③約50件の商工会議所、商工会の会員が廃業により退会され、そのうち3分の1が飲食店である。国、県の制度と連動して、支援制度を考えなければならぬ。

水産業

Q 後継者育成について。

A ①得策を考えていないのか。
②捕獲が禁止されている12センチ以下のカニを引き取る業者がいる。県の補助金を活用し、組合が買い取ることは出来ないか。

A ①種苗放流事業と併せて、海藻類養殖漁業への支援等の推進を考えている。

②有明海ガザミ広域資源管理方針に基づき、抱卵ガザミの保護や12センチ以下の小型ガザミの再放流に取り組むことになっている。

Q 大三東漁港と湯江漁港の棧橋について、市で修繕してほしい。

A 危険度の大きいところから順に計画を立て、両漁協や県と相談しながら進めたい。

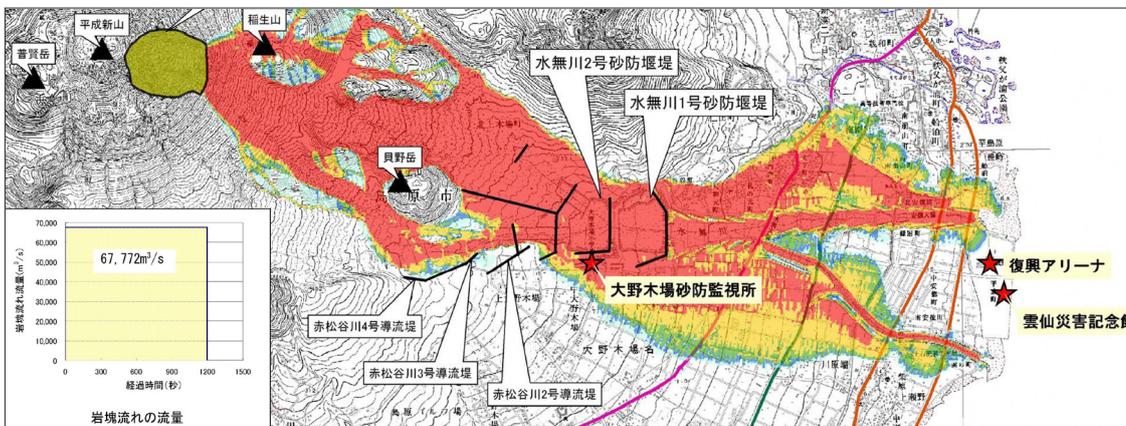
公園等の利活用

Q 遊具から健康管理のための器具の設置を。

A 5か所の公園に14基の健康管理器具を設置している。何気なく使えることは利用価値がある。ふさわしい設置場所について、勉強したい。



バラの会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員



※雲仙砂防管理センターHPより

日本一の防災環境都市を目指して

Q 溶岩ドームの崩落による岩屑なだけだが、最大級のケース5でシミュレーションされている。その場合に、砂防堤を大きくはみ出し、住宅や学校などに及ぶと予想され、そのリスクから移住を考えている市民の市内での移住を可能にできるよう、コンパクトシティ構想にも寄与して、移住政策や空き家活用事業などを市民対象とすべきでは。

A 市内には溶岩ドームの崩落だけでなく、津波や高潮、眉山の崩落などいろいろなりリスクが考えられる場所が存在し、一つのリスクもない場所があり得るのかわからない。ハード事業で整備をしながら、ソフト対策として避難訓練などで警鐘したい。

Q 爆弾低気圧などの急な大雨時の学校の対応について、危険な時間帯（雨が降り出した頃など）には無理な下校や、保護者への引き渡しも避けるべき。学校での待機、例えば一夜を明かすことも、避難所である学校ならば安心である。備蓄も含め、そのような対応をすべきだと思ふ。

A いま学校には備蓄はない。状況に応じて対応する必要がある。

【その他の質問項目】

- ◇ 新型コロナウイルス接種の順番は
- ◇ コミュニティバス
- ◇ 人口規模政策